

水波 光:	まもなく10時より開催となります。もう少々お待ちください^^
和美 野口:	おはようございます！ 本日もよろしくお祈りします！
知代 遠近:	おはようございます！ 今日どうぞよろしくお祈りします！
絃平 岡田:	このジングルを聴くだけでテンション上がります。よろしくお祈りします！
水波 光:	音、大きいなどありましたら教えてください！
晋一郎 林:	おはようございます！ スペシャルライブ楽しみです。
渡辺 涼太:	おはようございます。本日もよろしくお祈りいたします！
水波 光:	実験的に流しっぱなしにしています
秀美 佐藤:	なんて豪華なメンバーなのでしょう！+
絃平 岡田:	音量、ちょうどよいです🎧
水波 光:	ありがとうございます！
絃平 岡田:	初代ファシリテーションラジオのお二人のイベント、わくわく！
Mitsuhiro Ohta:	社員？ (エドガー) シャイン？
絃平 岡田:	CULTIBASEといえば水波さん！
Ryota Fujino:	プロデューサー？！
知代 遠近:	シャイニーなのに影の人？👤
水波 光:	そうなんですよ
Ryota Fujino:	シャイニーさんの愛され感をいつも感じますね～
水波 光:	ありがたいです🙏
絃平 岡田:	金曜日は安齋さんと東南さんによる会員なりたての方向けのコンテンツやってきましたよね！
知代 遠近:	3人以上で話し合うときはいつでも！
森重 智年:	もやもやしている時
渡辺 涼太:	①チームから意見が出ない場面 ②意見の対立が感情の対立に繋がりそうな場面
絃平 岡田:	誰かが自分の意見を押し殺して場に参加している時
一夫 露本:	シナジーを発揮させたい時
和美 野口:	プロジェクトが炎上したとき…汗
カツタロウ エイマエダ:	社会に必要というナベさんのコメントが響きますね、まさに
yuko h:	パワーバランスに差がある時
Mitsuhiro Ohta:	社員集会でエライヒトの話の後に全く質問が出ないとき
Ryota Fujino:	会社の中で「自分の組織」を主語に話す人が増えた時ですかね
晋一郎 林:	プロジェクトを進めるときに、参加メンバーのベクトル（目標）を合わせるために必要な時。
真哉 高橋:	話易い雰囲気を作る、ズレを戻すのが必要な時
Daisuke Yamaura:	組織でいっていることがコロコロ変わるような時に、一度立ち止まってちゃんと捉え直すことが必要なとき
Ryota Fujino:	打ち合わせがお通夜になっている時
ゆーこ たかぎ:	会議で何か言いたそうにしている人がいる時
秀美 佐藤:	人ひとりの人生を考えると
Ryota Fujino:	ファシリテーターは触媒だよなぁとナベさんの話を聞いていて思います。
Takahiro YASUKAWA:	意見を言う人が偏りそうな時。
西 寺田:	一部の人が活発になっていない時
Mitsuhiro Ohta:	おまけ：チャットのコメントをだれも拾わないとき
カツタロウ エイマエダ:	「ファシリテーション」であることに気づいていないことってありますね それを伝えてあげることもファシリテーションかもしれません
Hayahiko Okugawa:	インタビューで本音を引き出した時
知代 遠近:	2人のときは傾聴寄りで、3人以上になると調整が加わってくるイメージです
水波 光:	部活みたい笑
水波 光:	声出してこー
一夫 露本:	プロセスに介入するつもりがコンテンツに囚われ行き詰まることがあります。
晋一郎 林:	モヤモヤ共有会でですね。
和美 野口:	「生煮え」もCULTIBASEならではですね！
渡邊 貴大:	ぜひ、ご意見くださいmm
絃平 岡田:	規模別の階層は頭に入っているけど、階層ごとにファシリテーションの使い分けできていないところが個人的課題
和美 野口:	CULTIBASEのコンテンツは、CCMの木を育てるための、水であり、陽の光でありですね。
晋一郎 林:	どこに衝動を持つか。すごく刺さりました。
Keishi Matsumoto:	どのレイヤーでも場に出たものと、出していないものをすり合わせ続ける覚悟が必要ですね
Ryota Fujino:	ファシリテーターをファシリテーションするファシリテーターが必要になってくる・・・？
Daisuke Yamaura:	ファシリテーションのフラクタル構造…！
Mitsuhiro Ohta:	「社会運動はどうやって起こすか」っぽい話しなんでしょうかね、
晋一郎 林:	自分がなんとかせねば。。という意識はどこかしらありますね。仲間を作る。
絃平 岡田:	ファシリテーターの4つの芸風の話思い出しました！
和美 野口:	以前、安齋さんが仰っていた「管理している／されている感覚がない状態」という言葉が印象的でしたが、それにも通じる気がしました。
Ryota Fujino:	1000人を超える規模になったときに一人一人に「ファシリテーション」を意識させるのは難しく（必要性を感じない人もいる）で、自然と「ファシリテーション」的挙動をさせるためには何が必要なんだろう・・・ 「関係性を編む」ことの価値を実感する体験をしてもらうには
知代 遠近:	ファシリテーションを特殊技能扱いしちゃうなんて大事な気がする。 Aさんだけできる、けど、自分は無理。。って思わせない。
真哉 高橋:	垂直的な成長大事ですね。変化が分かり難いので、どのように成長実感するの難しいですよー
Ryota Fujino:	役割や肩書きをどう超えていくのか・・・大共感
和美 野口:	役割や肩書きを超える・・・この感覚を組織全体で持てるか、強いですね、
Hayahiko Okugawa:	ファシリテーションを組織文化とするためにどうするか、かぁ
Mitsuhiro Ohta:	やっぱり、資格商売のような「xxファシリテーター」は問題なんですね。
晋一郎 林:	館野さんの全員発揮のリーダーシップ ならぬ 全員発揮のファシリテーション ですね。
Hayahiko Okugawa:	水平→垂直と段階的な向上イメージになるのかなぁ
知代 遠近:	チームメンバーがファシリテーションしたときは、よいふるまいだったって伝えている
晋一郎 林:	ナベさんの熱い気持ち伝わってきます！
知代 遠近:	タッキングを思い出した
絃平 岡田:	帆船といえばナベさん！
知代 遠近:	岡田さん、それ！
知代 遠近:	ミミグリの進化はウイルス並み?! 感染したいw
Hayahiko Okugawa:	おおー、共犯関係！なるほど
和美 野口:	共犯関係、大事。
知代 遠近:	一緒に作る感覚は大好き♪ 環境学習も巻き込んで作ったのが良いものになる！+
Hayahiko Okugawa:	準備のコストがどれくらい負担にならずまい塩梅にするのか気になります
Daisuke Yamaura:	お膳立てしすぎると共創感がでない、っていうのは、たしかになるほど…！
晋一郎 林:	共創感覚いいなぁ。抜擢にもつながる考え方に思えた。
Ryota Fujino:	ラジオって社員全員が聴いてるのでしょうか？発信を頑張っても受けてくれる側にモチベーションがないと聞いてもらえないなという課題感があります
知代 遠近:	「視座上げる！」は、「やる気出せ！」と同じくらいわかんないw
Ryota Fujino:	「受け手」の目と耳がこっちに向いている時に、どんなコンテンツを発信するのか？というところにフォーカスできるんですが、まず目と耳をどうやってこっちに向いてくれるのかから考えるのが難しい
知代 遠近:	文化祭、わかる～♪
Hayahiko Okugawa:	プロセス設計かー！なるほどー！ありがとうございます！
Daisuke Yamaura:	読み上げ主体のお通夜定例会議のようなものの連発を、ラジオを組織文化にしちゃってみんなの情報発信力にするほうが、組織としての強さが全然ちがいますね。
Hayahiko Okugawa:	定例会議をラジオ化するの、アリですねえ。やり方の検討は必要でしょうが。

知代 遠近:	「連続性を持たせる」を体感的に得てたけど、ちゃんと言語化して周りに伝えて無かったと、今、気づいた🙄。
Daisuke Yamaura:	「決めすぎず、決めないわけではない」みたいな事が、組織の柔軟性に繋がる、というのを、頭の固い人達にわかってもらうにはどのようにファシリテートすればいいのか、というのが課題になりました
Mitsuhiro Ohta:	こういう時に技法が大切では？小グループに分けて、問いを出した話してもらい、。とか。
Ryota Fujino:	上位者以外の人に発言を振っても本人も発言振られると思ってないし、上位者が気になって当たり障りのないことしか言わない、みたいなあるある
晋一郎 林:	会社単位ではなく、組織単位でも「ワークショップ型」の在り方のような考え方というか組織の在り方を話すなどをすると、個人の意識も変わるかもしれないなあと思いました。
雅樹 中村:	会議のオーナーが目的を認識していないこともよくあるなど。
Daisuke Yamaura:	古い日本企業において、偉い人が発言する、偉い人に報告する、みたいな、会議という言葉への囚われが強いのもかもしれませんね。
真哉 高橋:	求めている事が参加者で違う気がしますね。その点すり合わせられると良いですね
知代 遠近:	「上位者が決めるなら、会議いらなすよね？」って本人に突きつけたことがある。。
Mitsuhiro Ohta:	ご参考：「このテーマでよくある結論とは？」という問いかけをアイスブレイクでやると、テーマをめぐる全体観や、皆が何を望んでいるかが確認できますよ。
知代 遠近:	身体的なことというと、話し始める前に全身にぎゅーと力を入れると、その状態を維持できないので、自然に緩む。 あと、吐く空気を多めにするように意識してる。
和美 野口:	あっという間ですね
水波 光:	https://forms.gle/PkTjwNih65Wn8fel8
知代 遠近:	ありがとうございました
晋一郎 林:	あっという間でした。楽しかったです。ありがとうございました。
和美 野口:	ありがとうございました！